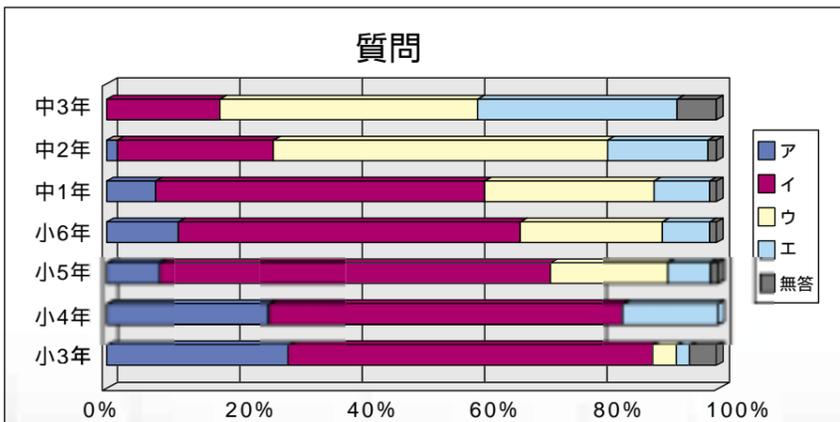


質問 あなたは、勉強が好きですか。
ア とても好き
イ あなたは、どんなときに「勉強は大切だ」と思いましたか?
ウ あまり思わない
エ 何も思わない
無答

コメント
小学生は、「ア」の約70%と「イ」の約20%を合わせると9割以上と低下しています。
Q あなたは、どんなときに「勉強は大切だ」と思いましたか?
ア とても好き



質問 あなたは、勉強が好きですか。
ア とても好き
イ あなたは、どんなときに「勉強は大切だ」と思いましたか?
ウ あまり思わない
エ 何も思わない
無答

コメント
小学生は、三年生で「ア」が27%、「イ」が63%と学習意欲は高いのですが、六年生は「ア」が12%、「イ」が約1割となつています。
小・中学校間では、小学校六年生で「とても大切」が約7割であったのが、中学一年生になったとたんに



熱心に授業を受ける生徒たち

うちの子 よその子

みんなで考え みんなで育てよう

子どもの現実「学習環境実態調査」から

改善、家庭のふれあいの時間の確保など、生活習慣の改善を求めています。

子ども教育（健全育成）は、家庭と学校と地域がそれぞれの役割と責任を果たすことで一層の効果을上げることで

子ども教育（健全育成）は、家庭と学校と地域がそれぞれの役割と責任を果たすことで一層の効果을上げることで

子ども教育（健全育成）は、家庭と学校と地域がそれぞれの役割と責任を果たすことで一層の効果을上げることで

このシリーズの読み方

実態調査は、子どもたちに質問内容を示した後、「自分の思っていることに一番近いものをア、イ、ウ・の中から選んでください」などの形式で実施しました。

このシリーズでは、学年ごとに集計した結果をグラフで紹介し、学年または小、中学校ごとの子どもの現実（特徴や傾向、問題点など）についてコメントしながら、みなさんに「これからのより良い子どもの育て方」を考えていただくための質問「Q」も設定しました。

お子さんがおられる家庭では、親子一緒に話し合われてはいかがでしょうか。また、隣近所のお母さん、お父さんで「地域の子どもは地域で育てる」方法について立ち話でもしていただければ願っております。

子どもの学習環境の現実の姿をご存知ですか?

5回シリーズ

第1回

須恵町では、平成16年度から子育て支援室を開設しました。ここでは、就学前の幼児の子育て相談をはじめ、多様な子育てニーズに応える養育支援事業に取り組んでおり、町民のみなさんの大きな関心と期待に加え、さまざまな要望もお寄せいただいております。

一方、子どもたちが、学齢期に達すると、多くの保護者が子育てを学校任せにしがちで、家庭での「しつけ」などが学校に委ねられている状況があります。

国の中央教育審議会・義務教育特別部会では「学校と家庭、地域の関係・役割」として、「子どもの教育の第一義的責任は家庭にあり、教育における保護者の責任を明確化する必要がある」と指摘しています。特に、睡眠時間の確保や食生活